

自然共生の未来を探究する連続ワークショップ 第4回ワークショップの報告

8月18日（木）18:00~20:00 トキ交流会館
参加者：会場28名、オンライン13名

オープニング

第3回の実施内容やその結果を受けて8月12日に実施した佐渡市との意見交換の内容をNTTデータの古澤 暁子が報告。第4・5回のワークで目指すこととその先の展開を参加者のみなさんと確認しました。

展望

様々な人が語り学び合い、新たな仲間や発想を得て、チャレンジをする仕組みリビングラボを作ろう！

目的：自然共生社会を実現しよう

・佐渡のポテンシャルを生かした産業の発展・循環型社会の醸成・豊かさが実感できる地域社会の実現

インスピレーショントーク

オリジナリティ・チャレンジ・ゲームチェンジ
講師 | 逸見 覚さん

(株) けんと放送 代表取締役社長
(株) スナッパ新潟 代表取締役社長



私も佐渡島
出身です！



FM放送やフリーペーパーの作成、イベント事業などを展開する(株) けんと放送を経営する傍ら、2019年に「SN@Pサロン」という起業家向けオンラインコミュニティを立ち上げたさんから、事業を起し継続させる際に大切な考え方についてお話いただきました。

オリジナリティ 単一業種では勝負にならない。農林水産業を掛け合わせることでオリジナリティを出そう！

チャレンジ 下りエスカレーターではなく、上りエスカレーターに乗ろう！時代の潮流に即した挑戦をしよう！

ゲームチェンジ 佐渡島を土俵に変革を起そう！そのためにまず、類似ビジネスの事業モデルを調査するところから始めよう！



ワーク

第3回までの対話で構造化された7つのテーマについて、異業種の参加者でグループを作り、バックカastingで、10年後のあるべき姿と具体的な目標、あるべき姿を実現させるための具体的なステップについて検討。グループごとに発表を行いました。

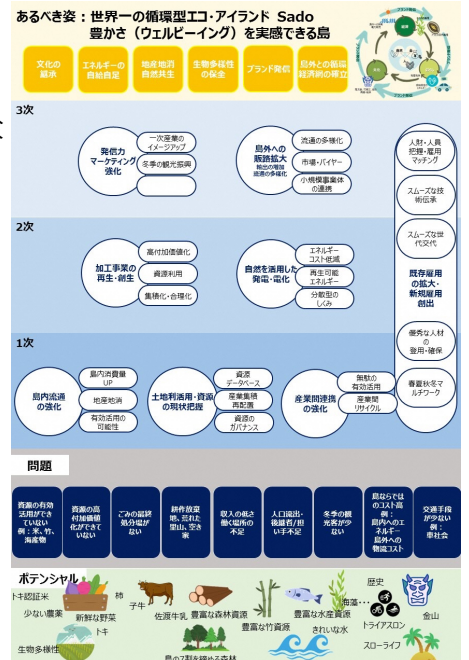
テーマ

- グループA 島内流通の強化
- グループB 土地利活用、資源の現状把握
- グループC 産業間連携の強化
- グループD 加工事業の再生、創生
- グループE 自然を活用した発電、電化
- グループF 発信力、マーケティング強化
- グループG 島外への販路拡大



ゲスト (株) NTTデータ経営研究所 江井 仙佳さんからのひとこと

グループFでファシリテーターをさせていただきました。これまで様々な地域に携わってきましたが、自給自足を自ら実践し自然共生を体現されている方にお会いしたのは初めてです。その他、みなさん色々な活動をされていて驚きました。佐渡島は国内外でブランド力もありますし、可能性に秘めています。ぜひ力を合わせて頑張ってください。



第5回ワークショップの報告

8月19日（金）18:00～20:00 トキ交流会館

参加者：会場27名，オンライン13名

オープニング

佐渡市長 渡辺竜五さん

「未来の子供達に里山をどう残すか？」今まさに自然共生を改めて考える時期にあり、その答えの一つが今年5月に内閣府に選定いただいた「SDGs未来都市」でした。現在計画を練っているところで、社会実装にあたっては、市民や企業を巻き込むことが不可欠だと感じています。

佐渡の問題は日本の問題、ひいては世界の問題です。来年度の政策を作る気持ちで頑張っていたいただきたい。期待しています！



ワーク

第4回の検討結果として出された7つのテーマについて、「10年後のありたい姿」を描くとともに、ビジョン達成に向けて何をすべきか、異業種の参加者で検討しました。個人でできることと、他者と力を合わせるからこそできることを洗い出し、時間軸で整理しながらすぐにあるいは5年以内に取り組むべきことを中心に、アクションに向けた実行ステップやステークホルダーの洗い出しを行いました。「S校2030年開校」「集まれ！ファーストペンギンPJ」「佐渡だからこそ！カーボンポジティブアイランド」など様々なアイデアが生まれ、発表も大いに盛り上がりました。最後には、NTTデータの松本良平より各チームのアイデアを統合した全体ビジョンを共有しました。

10年後ありたい姿

- グループA 少数かつ多品種の新鮮な生産物の魅力を引き出した農業・漁業が盛んになり島内消費が拡大している
- グループB 多様な観点で土地・資源を評価し適切な利活用ができています
- グループC 森里海の恵みをまるっと生かした加工商品開発が盛んになり、佐渡の基幹産業として成長している
- グループD チャレンジできる風土が生まれ、新規加工事業を立ち上げる人材が豊富にいる
- グループE 集落が主体となって発電にチャレンジできる環境が整うと共に非電化（風車・水車・馬）の取り組みも広がっている
- グループF 質の高い産品やサービス（観光も含む）が世界で高く評価され、外貨の獲得・雇用の創出に繋がっている
- グループG 郷土愛・地元愛を育みUターン・Iターンが増えている
- グループH ITを活用した農林水産業の技術継承が普及し、後継者や担い手が増えている
- グループI 知性と野生を覚醒する学校が開校し、島外からも多くの生徒が集まってきている

講師・逸見 覚さんからのひとこと

普段多くの時間をかけ、悩みながらアイデアを形にしていく起業家をたくさん見ているので、短時間でここまで具体的なプロジェクトが創出されたことにびっくりしています。是非この熱量のまま、リビングラボの発足に向け進んでいってください！お手伝いできることがあればいつでもお声掛けください。

スタッフより

新潟大学 豊田 光世

11月19日（土）16:00～@あいばーと佐渡でお会いしましょう！

熱量の高い5回のワークショップを終え、今後の展開がますます楽しみになりました。重要なことは、共創のコミュニティを継続してしっかり育てていくことです。すぐにできることから取り組み始め、技術開発やしくみの構築など、大きな挑戦へとつなげていきたいと考えています。まずはオンラインのコミュニティで対話を続け、アクションへの手がかりを掴んでいきましょう。

佐渡市役所一同

佐渡リビングラボの開設により、同じ意思を持った人たちが集まれる場所となり、メンバ同志の交流、情報交換を通じて、各自の活動の活性化が図られることを期待しています。さらに、テーマ毎に業種の垣根を越えたコミュニケーションが生まれ、解決策をアウトプットし、アウトプットを実行する相手と連携し、社会実装するところまで担っていく。そういったコミュニティプラットフォームにしていければと思っています。

NTTデータ一同

新参加者である私たちを温かく迎え、佐渡島のより良い未来に向け、対話をさせていただき誠にありがとうございました。アンケートからもみなさんのポジティブな思いを読み取ることができ、無事スタートラインに立てたことを嬉しく思っています。引き続き全力でサポートさせていただきますのでどうぞよろしくお願いたします。

11月にお会いしましょう！



問い合わせ先 新潟大学佐渡自然共生科学センター コミュニティデザイン室（豊田・北）

Tel: 0259-22-3885 Email: community-design@cc.niigata-u.ac.jp